

桐生繊維業界の実態

平成28年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成28年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）

また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	11 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	70 億 8,033 万円	
(2) 加工高	12 億 3,836 万円	
(3) 販売高	65 億 2,906 万円	
計	148 億 4,775 万円	
推定退会団体等の収入 (桐生ものづくり協同組合を除く)	17 億 5,236 万円	(前年対比 94%)
計	166 億 0,011 万円	(前年対比 76%)
3. 組合員数（事業所数）	222 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	1,666 人	
5. 一事業所当たり従業員数	8 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	6,688 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 8 年 産地収入	678 億 3,478 万円	(前年対比 92%)
平成 9 年 産地収入	616 億 9,017 万円	(前年対比 91%)
平成 10 年 産地収入	528 億 4,669 万円	(前年対比 86%)
平成 11 年 産地収入	473 億 6,503 万円	(前年対比 90%)
平成 12 年 産地収入	444 億 7,222 万円	(前年対比 94%)
平成 13 年 産地収入	416 億 8,724 万円	(前年対比 94%)
平成 14 年 産地収入	376 億 2,047 万円	(前年対比 90%)
平成 15 年 産地収入	346 億 0,005 万円	(前年対比 92%)
平成 16 年 産地収入	453 億 8,571 万円	(前年対比 131%)
平成 17 年 産地収入	436 億 5,236 万円	(前年対比 96%)
平成 18 年 産地収入	397 億 4,442 万円	(前年対比 91%)
平成 19 年 産地収入	375 億 4,078 万円	(前年対比 94%)
平成 20 年 産地収入	318 億 2,356 万円	(前年対比 85%)
平成 21 年 産地収入	287 億 2,461 万円	(前年対比 90%)
平成 22 年 産地収入	257 億 4,424 万円	(前年対比 90%)
平成 23 年 産地収入	258 億 0,221 万円	(前年対比 100%)
平成 24 年 産地収入	257 億 5,924 万円	(前年対比 100%)
平成 25 年 産地収入	261 億 8,835 万円	(前年対比 102%)
平成 26 年 産地収入	254 億 1,823 万円	(前年対比 97%)
平成 27 年 産地収入	218 億 6,296 万円	(前年対比 86%)

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数					従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)		計 (人)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	51	117	144	46	67	374	55
	内地協議会	57	152	252	48	53	505	59
桐生染色組合		11	90	50	4	4	148	50
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		14	21	60	6	13	100	44
桐生織物産地元売組合		2	3	2	0	1	6	53
桐生糸商組合		8	21	9	2	7	39	47
桐生刺繍商工業協同組合		46	73	111	66	66	316	56
東日本編レース工業組合		4	36	20	6	4	66	50
桐生紋紙組合		9	2	0	4	2	8	65
東毛ジャカード刺繍協同組合		8	8	10	8	8	34	53
桐生織物商友会		7	10	9	2	6	27	59
桐生テキスタイル商業グループ		5	21	13	4	5	43	49
合計		222	554	680	196	236	1,666	

注

- (1) 平成 7 年 1 月 13 日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7 年 5 月 17 日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成 10 年 3 月 31 日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成 10 年 3 月 31 日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成 10 年 3 月 31 日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成 10 年 4 月 1 日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成 11 年 3 月 31 日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成 12 年 3 月 31 日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成 13 年 3 月 31 日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成 18 年 11 月 28 日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成 21 年 3 月 31 日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成 28 年 3 月 30 日 桐生意匠組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	307,356	19,082	326,438	91	0	100
	内地協議会	103,888	-	103,888	92	0	100
桐生染色組合		-	40,000	40,000	80	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		98,900	15,370	114,270	※ 21	6	94
桐生刺繍商工業協同組合		29,800	48,300	78,100	105	40	60
東日本編レース工業組合		151,665	-	151,665	87	10	90
桐生紋紙組合		3,600	-	3,600	95	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		12,824	1,084	13,908	91	2	98
合 計		708,033	123,836	831,869	62	8	92

※桐生ものづくり協同組合員であった桐生地域を代表する繊維企業2社（「上場会社への統合」及び「廃業」）が、組合を退会したため、生産高等の売上額が大幅に減少した結果であります。

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	32,000	89	20	80
桐生糸商組合	390,000	100	70	30
桐生織物商友会	84,000	107	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	146,906	90	1	99
合 計	652,906	98	44	56

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	282,388	86	44,050	14	326,438
	内地協議会	103,888	100	-	-	103,888
桐生染色組合		40,000	100	-	-	40,000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		113,127	99	1,143	1	114,270
桐生織物産地元売組合		32,000	100	-	-	32,000
桐生糸商組合		350,000	90	40,000	10	390,000
桐生刺繍商工業協同組合		78,100	100	-	-	78,100
東日本編レース工業組合		150,615	99	1,050	1	151,665
桐生紋紙組合		3,600	100	-	-	3,600
東毛ジャカード刺繍協同組合		13,908	100	-	-	13,908
桐生織物商友会		84,000	100	-	-	84,000
桐生テキスタイル商業グループ		127,808	87	19,098	13	146,906
合計		1,379,434	93	105,341	7	1,484,775

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		72	11	12	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		56	22	16	6	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセテート	絹	綿・ウール	
		80	5	5	10	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		20	18	9	5	48

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	35	20	10	15	20
桐生糸商組合	ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
	40	20	5	15	20
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	15	15	20	10	40
東日本編レース工業組合	インテリア	産業資材	衣料		
	61	25	14		
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
	30	55	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッポイント刺繍	その他の布帛	プリント加工
	76	5	10	7	2
桐生織物商友会	二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
	72	8	7	1	12
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係	その他		
	60	39	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	642
		自動織機（片レピア含）	210
		超自動織機（レピア）	395
		計	1,247
	内地協議会	広幅織機	67
		並幅織機	603
		小幅織機	91
		自動・レピア織機	206
		計	967
	桐生染色組合	常圧噴射式染色機	55
高圧噴射式染色機		10	
汎用染色機		10	
チーズ染色機		30	
高圧液流染色機		18	
計		123	
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン（特殊含）	135	
	プレス	25	
	裁断機	12	
	その他	38	
	計	210	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	45	
	多頭式ミシン	355	
	計	400	
東日本編レース工業組合	ラッセル機	109	
	計	109	
桐生紋紙組合	デザインシステム	16	
	横彫カット・エンドレス	10	
	カードパンチ	8	
	ワンパンチ	3	
	計	37	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	18	
	プレス	4	
	本縫いミシン及びその他の機械	19	
	パンチング製版機及びプリント機	3	
	計	44	

7. 最近の推移（H28年10月～H29年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比 （％）	増	変らず	下降	前年対比 （％）
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	91		○		100
	内地協議会			○	92			○	92
桐生染色組合				○	80			○	80
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）				○	90		○		100
桐生織物産地元売組合			○		100		○		100
桐生糸商組合				○	97			○	97
桐生刺繍商工業協同組合			○		100		○		100
東日本編レース工業組合			○		100		○		100
桐生紋紙組合				○	90			○	90
東毛ジャカード刺繍協同組合			○		100		○		100
桐生織物商友会			○		100		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	95		○		100
合計		0	5	7		0	8	4	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成28年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・産地商品に対する国内消費は減少している。
輸出においては、個性的な素材へのニーズはあるが、同時に小ロット短納期などの条件も厳しくなっている。
- ・和装部門においては、和装を楽しむ様子が多く伺えるが、依然として産地製品の需要に結びつけるのは難しい。
また、購入する製品の低価格化が進んでいる。

平成28年の状況、事業概要

- ・国内事業として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2017AWを開催。
また、JFW ジャパンクリエイションへの出展をした。
輸出向けとして、9月にミラノで開催されたミラノウニカに出展をした。
- ・和装部門においては、流通の弱体が意識される中、産地製品を全国的に発信するため、集散地である東京・京都において例年通り展示を開催した。全体的には問屋の来場数は少なくなる傾向で、受注量も同様な傾向にある。
また、市場から求められる新たな製品を開発するため、新製品の開発事業に取組み産地内外で発表会を開催するなど、和装振興を目的に多くの事業を実施した。

今後の課題

- ・独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくことが必要であり、それらについて効果的にプロモーションをしていくことも重要である。
- ・和装部門においては、産地製品の認知度と信頼性の向上を目指して、地域団体商標「桐生織」を活用したブランド力を強める。
- ・流通の弱体、安価な製品の流入など和装業界としては多くの問題を抱えてはいる中、巷では和装ブームと言われている現状を産地の活性化に結びつける。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・織物向けの先染・後染共仕事量激減。リーマンショック以来の市況悪化と言われている。
- ・繊維の生産国がタイ、ベトナムに移行し、また、一段と東南アジアでのシフト化が定着しつつある。

平成28年の状況、事業概要

- ・昨年来、織物、レース共不調。
- ・機能性のある商品は堅調。メディカル関係。

今後の課題

- ・引続き差別化された加工。
産業資材、メディカル関係の仕事を開発する必要がある。

桐生ものづくり協同組合（旧 桐生繊維製品協同組合）

商品 消費者ニーズの変化について

- ・大手アパレルメーカーなどの店舗の縮小や、衣料品の販売不振などが影響して、今までに経験がない程の悪い状況である。

平成28年の状況、事業概要

- ・繊維業界全体が先の見えない不況下にあり、とりわけ縫製業は状況が悪い。
実習生を受け入れる企業も人員を減らすなど、廃業や業種変えなども増えている。

今後の課題

- ・今までは人材不足が一番の課題でしたが、今後は新しい需要の創設や変革が求められ、それにどう対応するかが一番の課題であると考えます。
異業種との交流などを増やし、新しい取り組みをどう増やせるか、検討していきたいと思います。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・着物について、女性にアンケートをすると、80%の人が着てみたいと言う。しかしながら小ロット生産のため価格が高く、手入れも大変であるため、需要はレンタルに流れている。

平成28年の状況、事業概要

- ・全国の呉服の需要は20年前に1兆5千億円あったものが、平成28年には3千億円と5分の1に減少している。市場全体が苦戦している。
- ・産地においては、流通在庫が少なくなったため、生産はもっと減少している。

今後の課題

- ・今の状態が続くと、織物の準備工程においても職人が高齢化し、製品が出来なくなる可能性が高い。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・景況悪化の為、従来の商品は動きが悪い。
消費者ニーズは大きく二通りに成っているようだ。一つは、従来品をより安く。もう一つは時代に合わせた物。しかし、どちらにしても爆発的に売れるものではない。

平成28年の状況、事業概要

- ・両毛地区の繊維業界にとって、余り良い年ではなかったと思われます。どの分野においても分野全体では下降した様に思います。ただ、メーカーによっては、前年より増収した会社も僅かにあったようです。

今後の課題

- ・労働力の確保、特に若い労働力の確保が難しい現状を少しでも改善出来ればと思います。それには、過去の経験を踏まえて、新しい方向性を模索していく必要があると思います。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者ニーズの多様化による、小ロット生産が主体となっている。また、低価格、短サイクルが相変わらず求められている。

平成28年の状況、事業概要

- ・全体的に刺繍関連は、受注が増加致しました。
円安に伴う材料費等の値上がりが問題ではありますが、機械の稼働率は着実にあがっていると思います。

今後の課題

- ・技術者の高齢化により、人材の確保はあいかわらず難しい状況です。
- ・組合として可能な限り、色々な事にチャレンジを続ける事で、個々の企業の技術、得意分野を磨き続ける事により、桐生刺繍の素晴らしさを全国に、そして世界に発信していきたいと思えます。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者ニーズに合った商品であると同時に、価値観が大事である。

平成28年の状況、事業概要

- ・昨年に引き続き一般消費が低迷しているため、インテリア関連に元気がない。
衣料は、マスコミに取りあげられたこともあり、付加価値のあるマフラーが好調に推移した。

今後の課題

- ・インテリア、衣料を問わず新商品開発が必要であり、海外への販路も積極的に行う必要がある。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・インターネットの普及により、益々販売チャンネルが多様化していく中、商品の独自性・特異性が求められています。購買層は二極化し、それぞれの商品開発が必要であると思われます。

平成28年の状況、事業概要

- ・量販店や通信販売、専門店など、業績を伸ばしている業種・業態も有り、全てが悪い状況下ではないと思いますが、総論としては、市況は厳しいと思います。

今後の課題

- ・産地を形成していく上で、事業継承の問題解決は不可欠です。人材確保のための優遇処置など、より行政との連携も必要だと思えます。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・大手百貨店は、突然の社長交代があるなど経営方針がはっきりしない中、今までの売り方を変える方向を模索している。
- ・百貨店に対する消費者のニーズも変化し、かい離が大きくなってきている。
- ・商品の購入のきっかけや、告知の場所としてSNSの活用が増えてきている。その情報をもとに購入する場合は、安い商品を優先して中間価格帯は選ばなくなってきている。
- ・消費者の収入が増えないため、繊維製品の購入優先度が低くなる傾向にある。従来、好調であった海外高級ブランドすら好まなくなってきた、高齢者も高級品は購入しない状況にある。

平成28年の状況、事業概要

- ・新規商品の試作を進める場合、客先の試作予算が減ってきているため新規商品を企画しにくくなってきている。
- ・生産現場でも原料、紋紙代などのコストが上昇してきているため、客先の希望単価と産地販売単価が合わず商談の件数が減少した。

今後の課題

- ・消費者の給料が上がらない限り服は売れない。（消費者が繊維製品をほしい気持ちにならない状況にある。）
- ・従来好調であった、多くの商品を在庫して販売する商社の売り上げも減ってきている。また、プリント下生地（P下）も動かない状況で、すぐには好転は望めないと思われる。
- ・国内需要の停滞に対して、改めて輸出も考えていく必要が出てきた。
- ・販売先開拓のための展示会出展を多く進めることも必要であると思われる。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	牛 腸 章	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート 内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	朝 倉 泰	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株) 内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村 田 欽 也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒 澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ 内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	後 藤 誠 三	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300